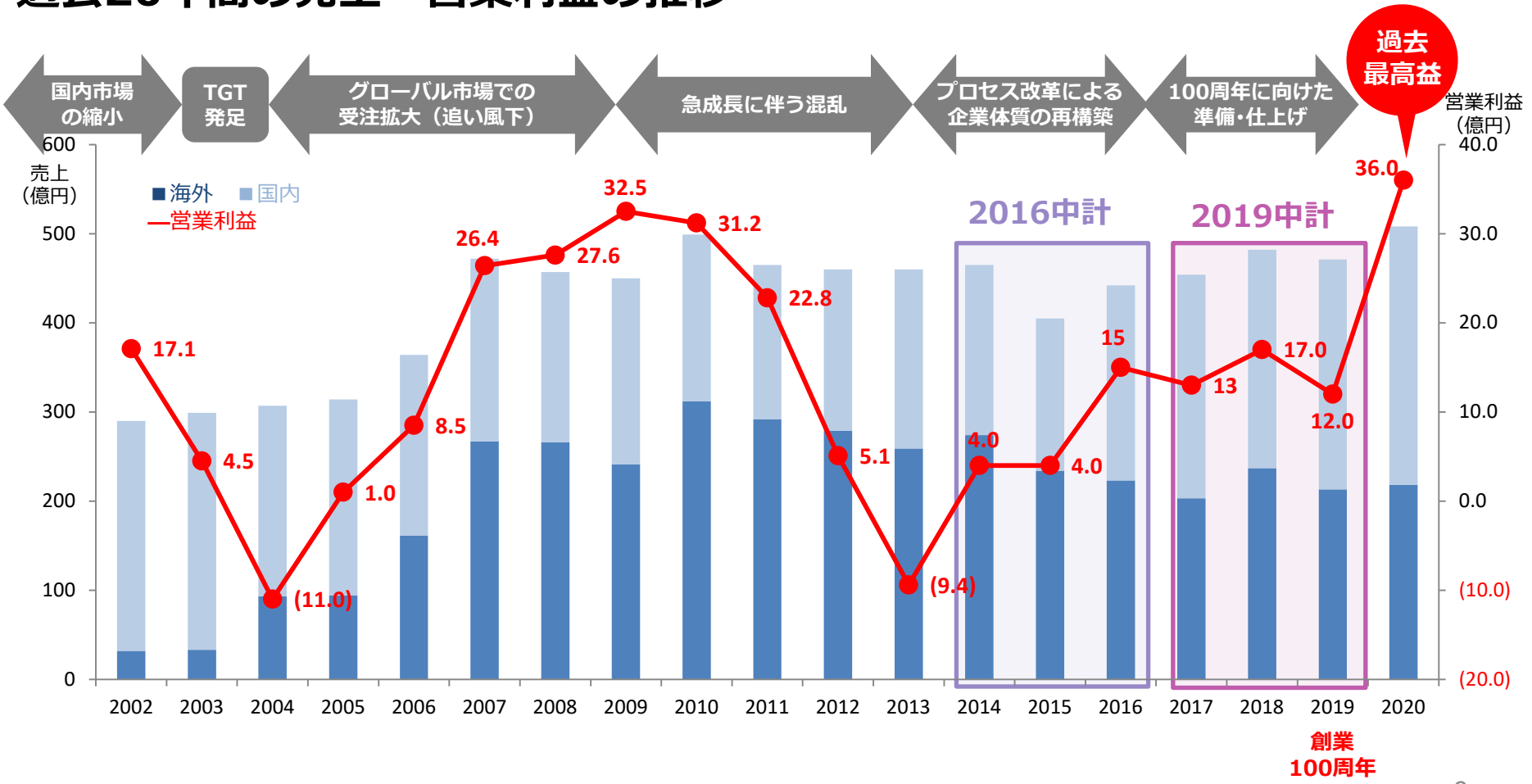
中期経営計画
Beyond110
V1

2021年5月14日

株式会社 酉島製作所（6363）

過去20年間の売上・営業利益の推移



2016年度～2020年度の振り返り②

2016年　「**パリ協定**」が発効

2020年以降の温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組み

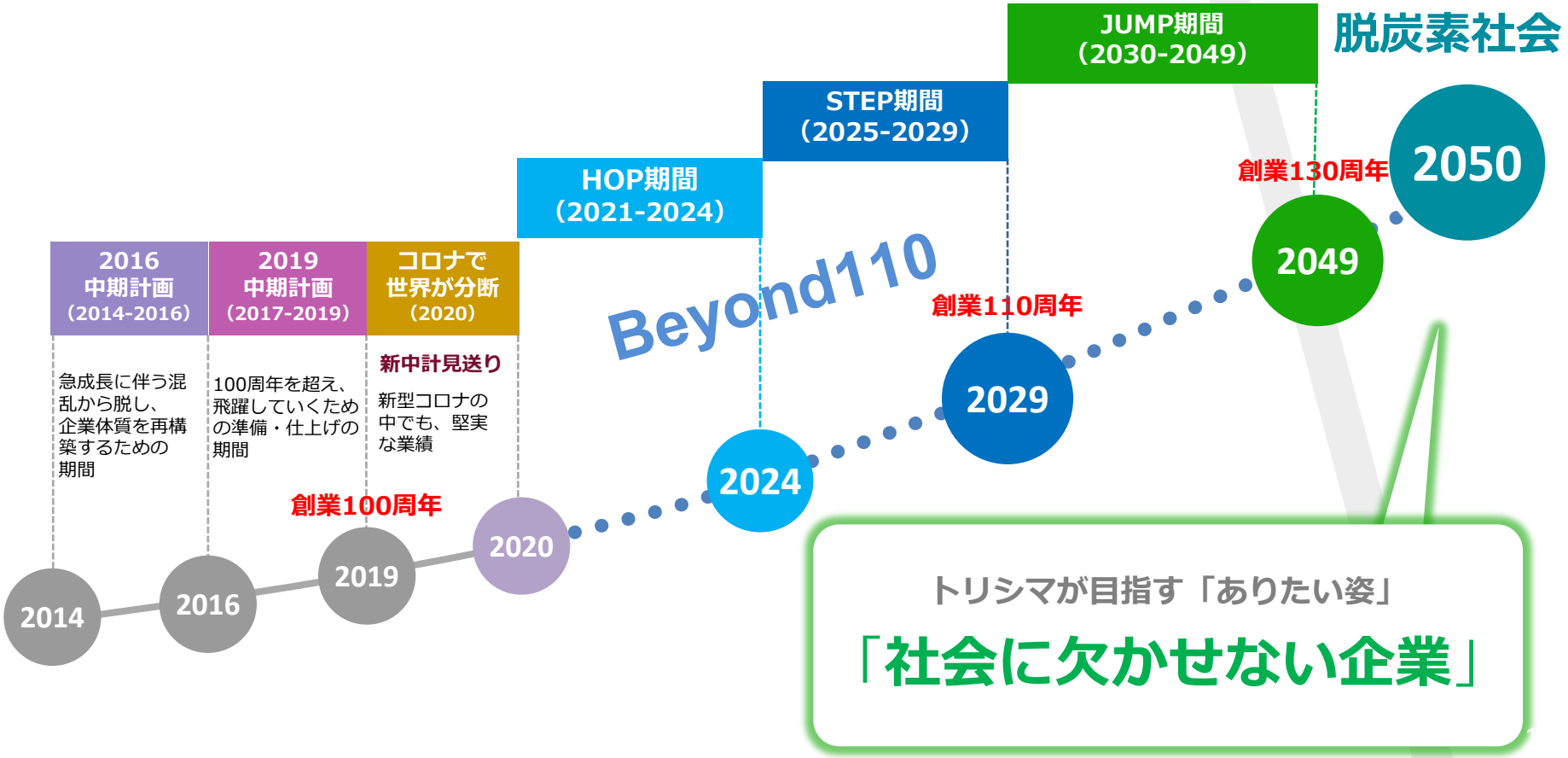
世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して、1.5℃に抑える努力を追求することを目的

→ **2050年までに脱炭素社会の実現が必要**

2020年　1月　**パンデミック発生**

2020年10月　**日本も2050年カーボンニュートラル宣言**

2050年 脱炭素（カーボンニュートラル）社会の実現に向けて



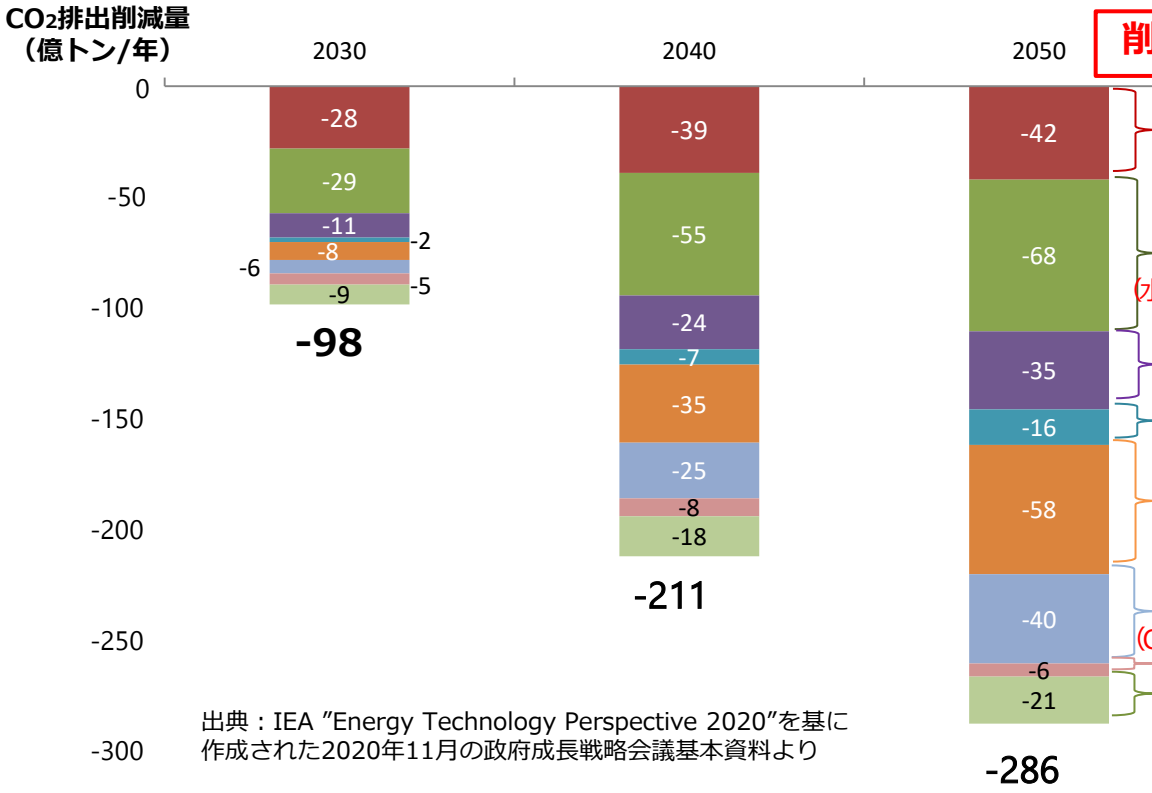
長期ビジョン

人類を脅かすパンデミックを経験し、世界は持続的社会の構築を目指して、脱炭素（カーボンニュートラル）へ大きく動き出しました。

トリシマは、2050年カーボンニュートラル社会への貢献と事業成長を両立させて、

「社会に欠かせない企業」を目指します。

2050年 脱炭素（カーボンニュートラル）社会を実現するために 世界が取り組むCO₂削減の具体策



削減の具体策

ポンプの需要
トリシマの役割

エネルギー効率改善 → 省エネ

再生可能エネルギー（水素・バイオマス以外） → 風力発電

バイオマス → バイオマス発電

水素 → アンモニア・水素

電化

CCUS（CO₂回収・利用・貯蔵） → CO₂

燃料の変更

需要削減

大量の取扱いのためには液化が必須
→大型高圧のポンプのニーズ

出典：IEA ”Energy Technology Perspective 2020”を基に作成された2020年11月の政府成長戦略会議基本資料より

長期ビジョンを見据えた中期経営計画 Beyond110

Beyond110

2013－2019

創業100周年を超えて飛躍するための基盤づくり

- ✓ コア製品の強化
- ✓ 省エネビジネスの推進
- ✓ サービス拠点の拡大
- ✓ TR-COM（IoT）の推進
- ✓ 製品標準化の推進
- ✓ 基幹システムの刷新

2020

新型コロナ

リモートワークの常態化

働き方改革の推進

新本社工場ビル完工

2021－2024(HOP)

短期ベースの社会貢献事業（既存技術のダントツ化）

① **スーパーエコポンプによる省エネ推進**
② **気候変動対策向けポンプによる減災技術の推進**
③ **TR-COMによるデータに基づくスマートメンテナンスの提供**
④ **アンモニアを取扱うポンプの高機能化**

中・長期ベースの社会貢献事業（新技術開発の推進）

⑤ 水素・CO2を取扱うポンプの研究開発 → **市場への実機投入**
⑥ 風力発電事業への人・モノ・カネの投入 → **洋上風力発電を含めたサービス事業の充実**

2025－2029(STEP)

創業110周年

2030-(JUMP)

社会課題を解決する製品・サービスを通じて持続的に企業価値を拡大

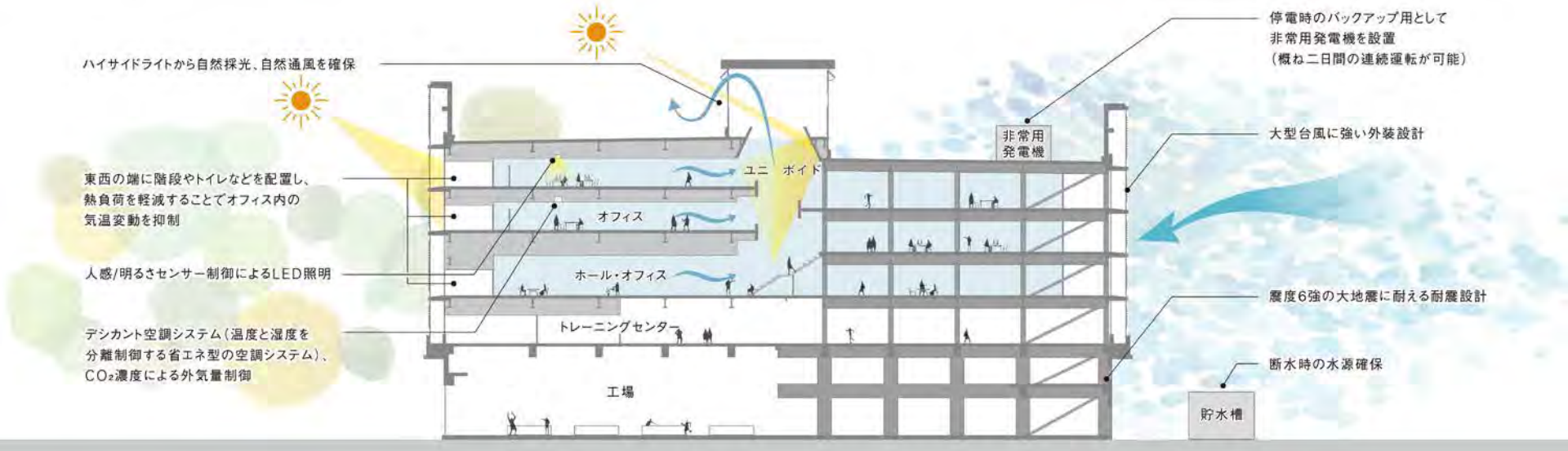
― 土台となる基盤 ―

「社員活力の最大化」「ESG経営」

社員活力の最大化とESG経営の拠点①

地球に優しく、災害に強い最先端ビル

新本社工場ビルは、大幅な省エネ化を図ることで地球環境を守り、また、災害時にも機能を維持し、従業員の命を守るとともにお客様の事業を継続支援できるよう、安心・安全を徹底追及した設計としています。



ZEB Oriented建築

当ビルは、環境に優しい建物として、年間エネルギー消費量を従来に対して40%以上削減した、「ZEB Oriented」の評価基準を達成しました。

100%グリーン電力を活用

当ビルにおける年間使用電力量（約125万kWh）の100%は、日本自然エネルギー株式会社が手掛ける「グリーン電力」で賄われています。

※日本自然エネルギー株式会社は、グリーン電力証書発行事業者の一つで、木材などのバイオマスや、風力、太陽光、水力といった再生可能エネルギーの「グリーン電力証書」を契約事業者に発行しています。

災害に強く、従業員の命を守りながら事業も継続

西島製作所の心臓部となる当ビルは、災害時に従業員の生命と資産を守り、お客様の事業を支援し続けられる安心・安全な設計としています。例えば、耐震設計により、震度6強の大地震でも継続利用できる耐震性を確保。また、大型台風にも強い外装づくりを実現しました。さらに、給水と電力の設備バックアップを図ることにより、災害時にも機能を維持し続けることができます。

社員活力の最大化とESG経営の拠点②

壁をなくし、部門間の交流を促すオフィスエリア

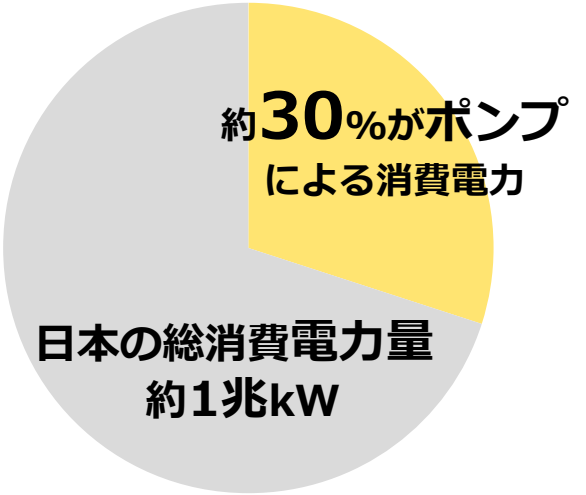








短期ベースの社会貢献事業①-1
スーパーエコポンプによる省エネ推進



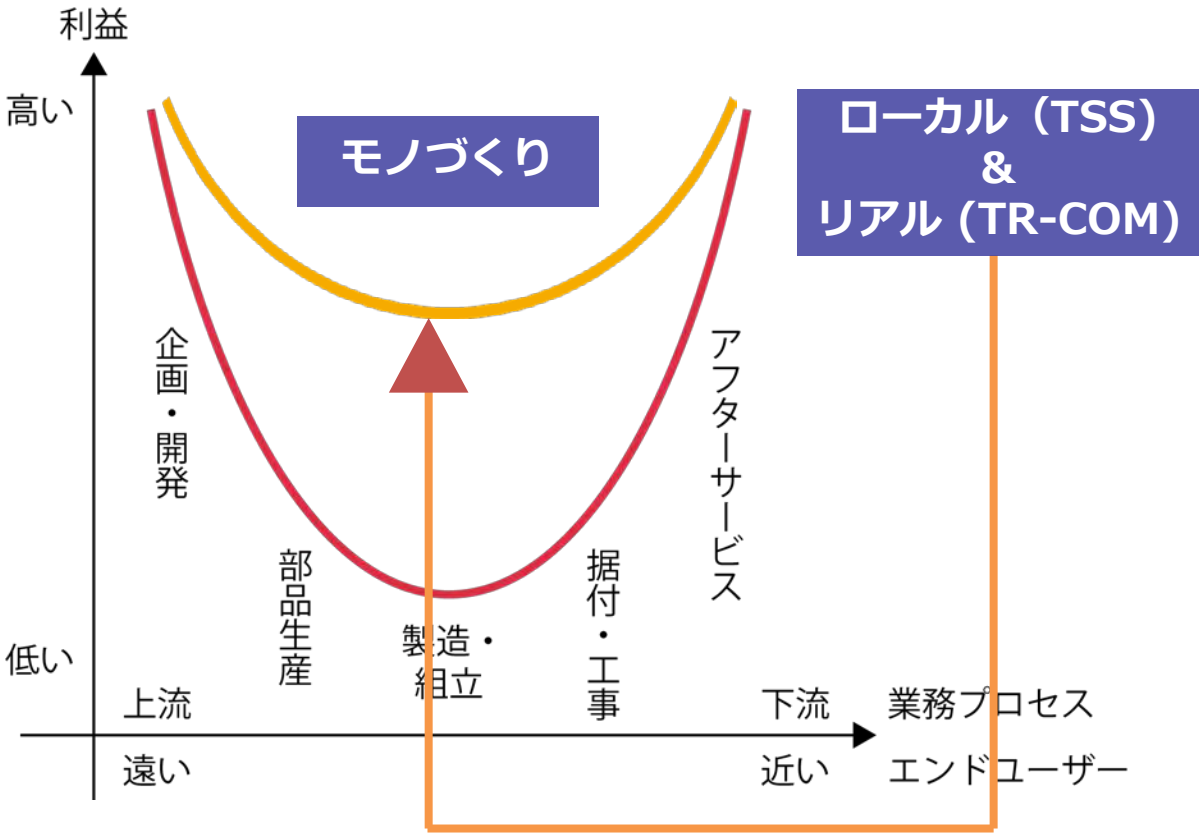
出典：一般財団法人エネルギー総合工学研究所



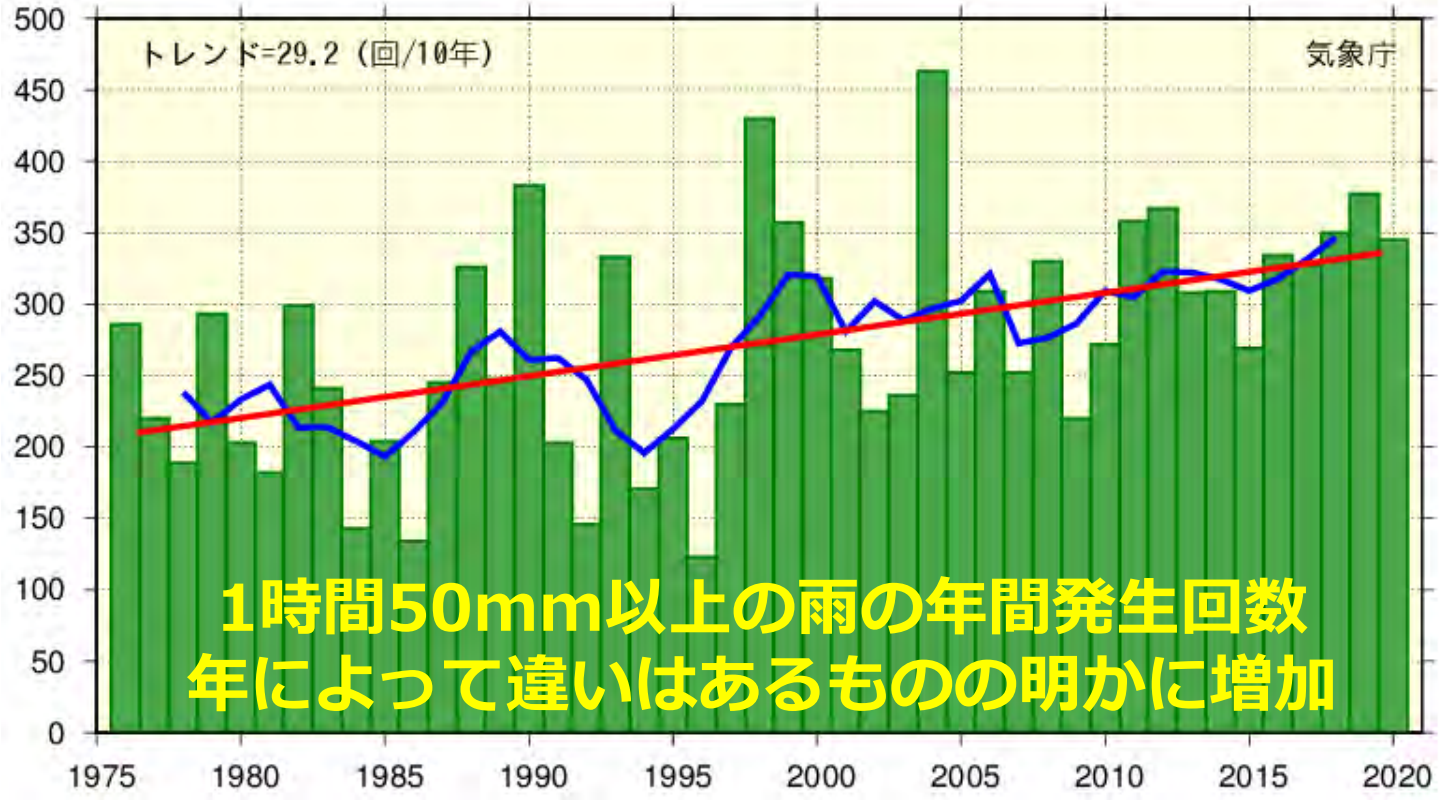
出典：環境省

「ポンプdeエコ」による
ポンプの省エネ化（最適化）がいま再び注目、期待されている
トリシマが**トップランナー**として**省エネを牽引**する！

短期ベースの社会貢献事業①-2
スーパーエコポンプによる省エネ推進（利益率の向上）



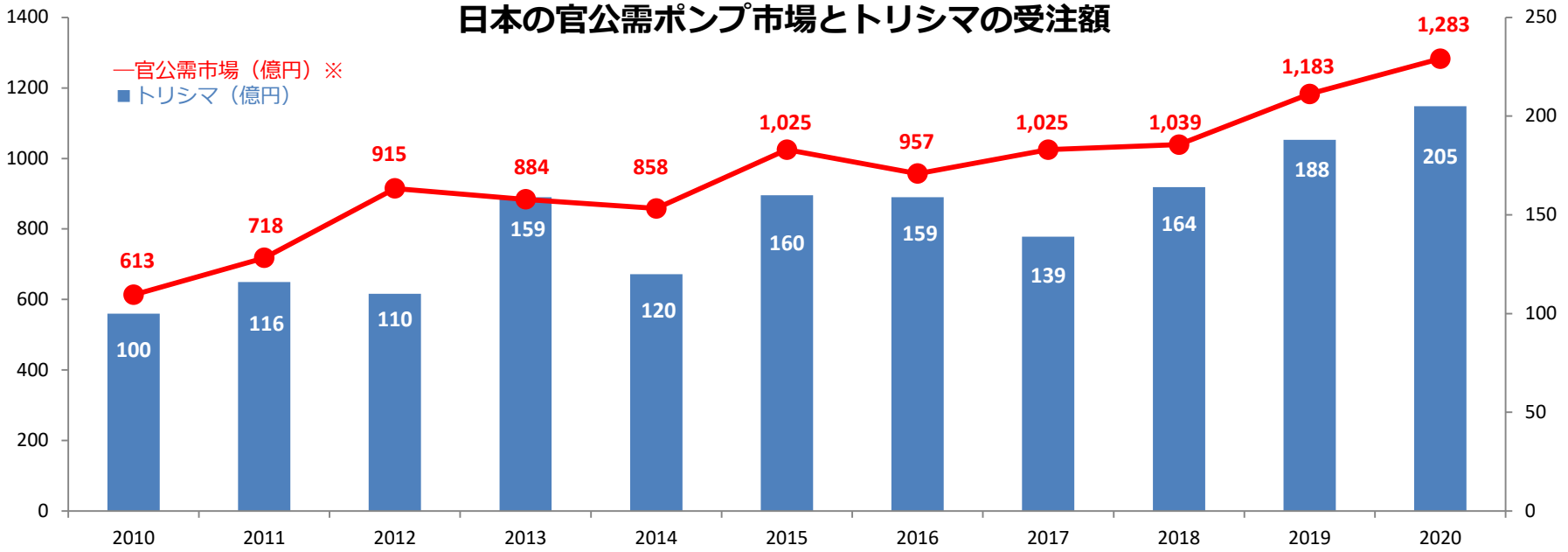
短期ベースの社会貢献事業②-1
気候変動対策向けポンプによる減災技術の提案



※出典：気象庁　青線は5年移動平均値、赤線は長期変化傾向（この期間の平均的な変化傾向）を示す。

短期ベースの社会貢献事業②-2
気候変動対策向けポンプによる減災技術の提案

日本の社会インフラは高度成長期に集中して整備されており、今後20年で建設後40年以上経過する施設の割合が高くなっている。この需要にしっかりと応えていくことで社会貢献するとともに事業の成長を下支えする。

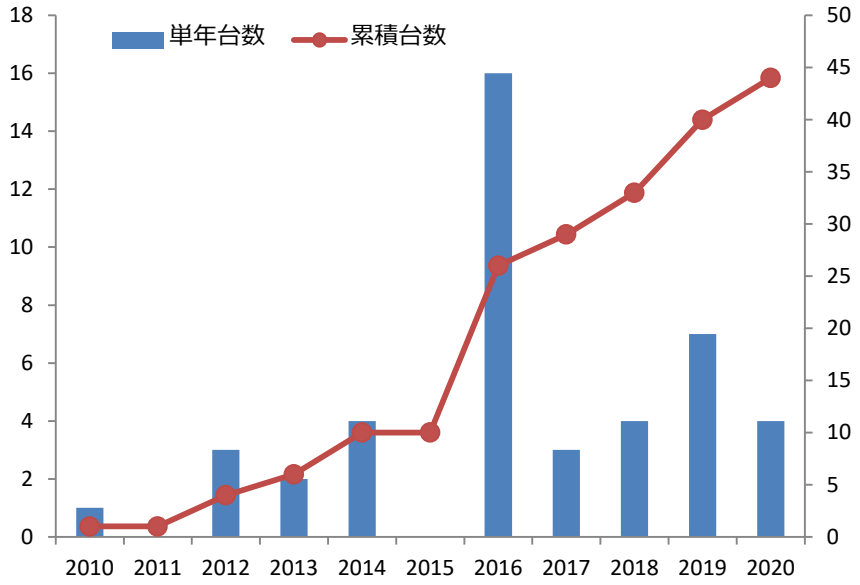


※日本産業機械工業会資料

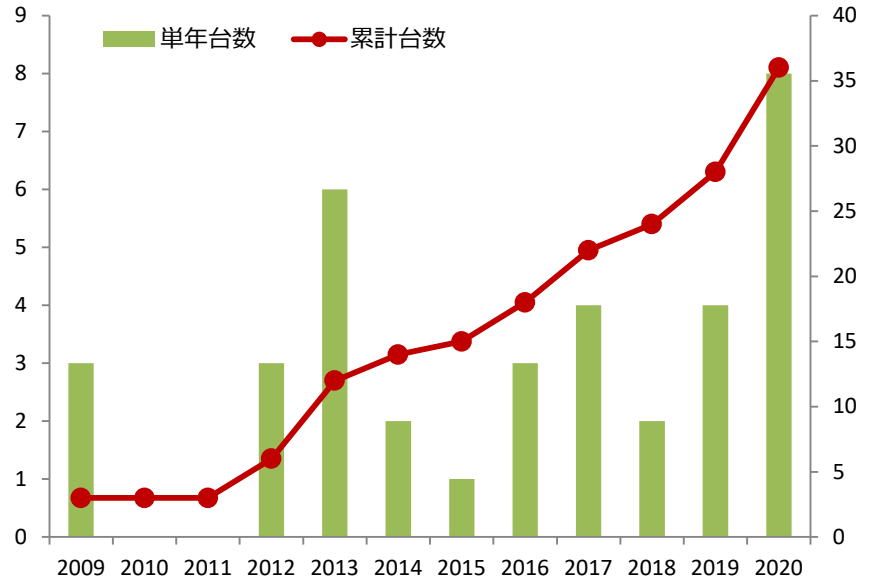
短期ベースの社会貢献事業②-3
気候変動対策向けポンプによる減災技術の提案

トリシマは、昨今頻発する水害に対し、オンリーワンの技術提案を行うことで高評価を得て、堅実な受注につなげています。

二重ラッパカンと渦対策リング受注台数推移

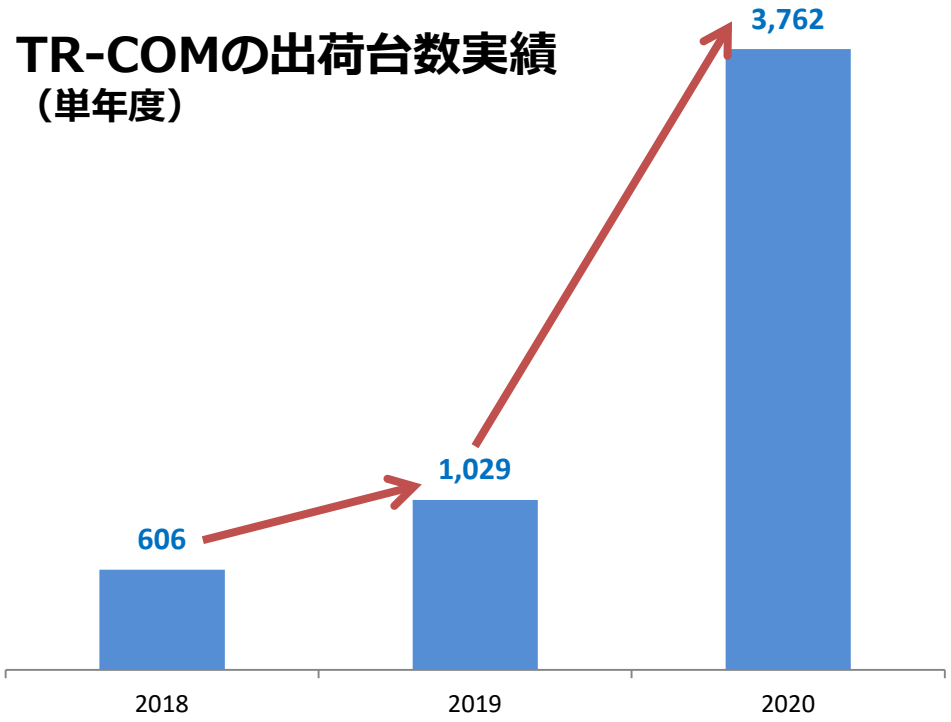


耐水モーター体型受注台数推移

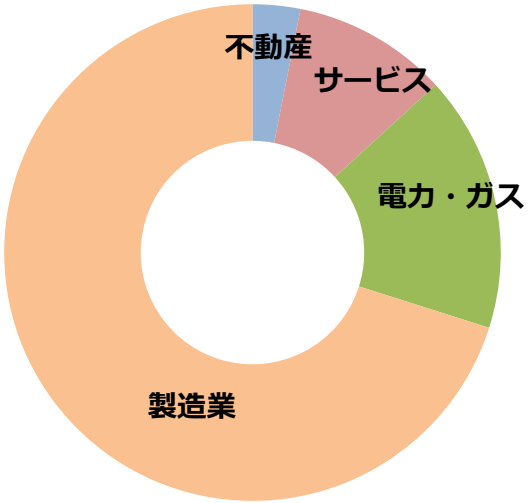


短期ベースの貢献事業③-1
TR-COMによるデータに基づくスマートメンテナンス提供

TR-COMの出荷台数実績
（単年度）

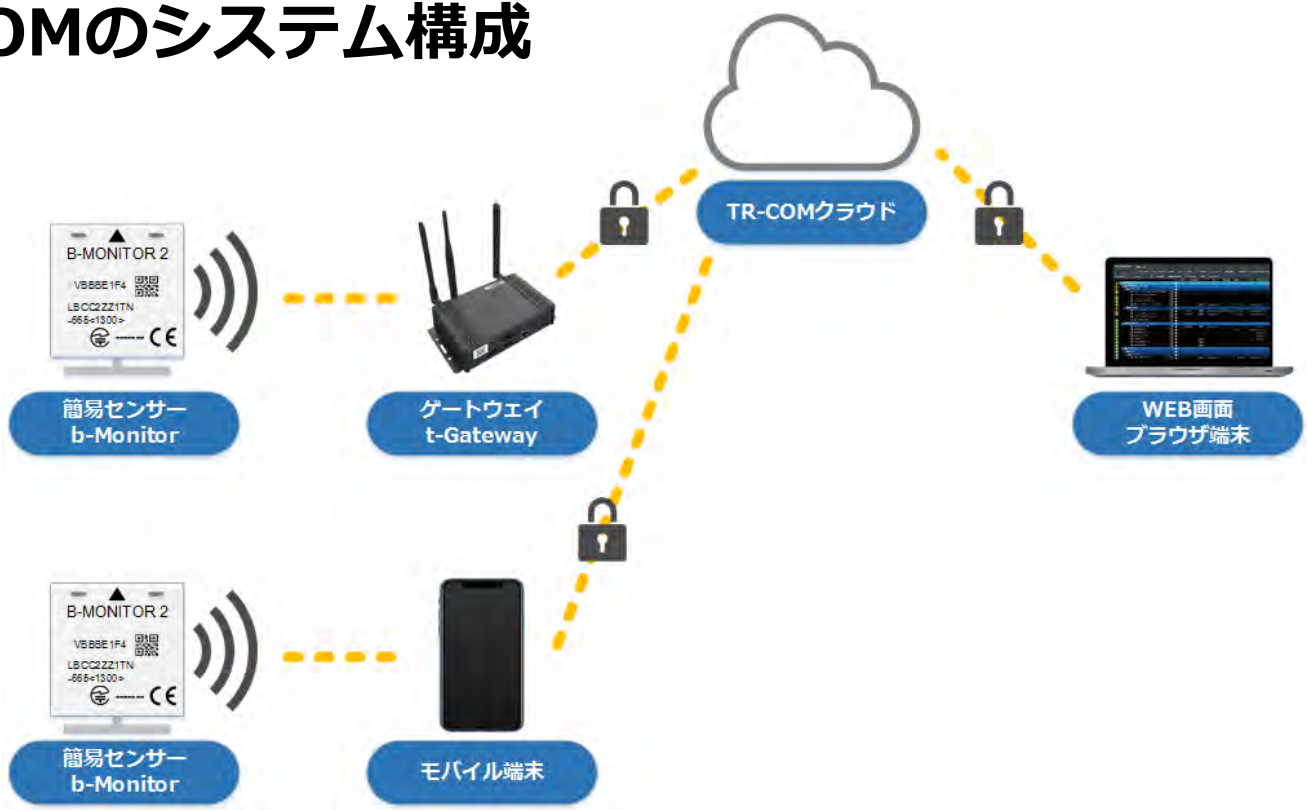


TR-COMの納入先業種



短期ベースの貢献事業③-2
TR-COMによるデータに基づくスマートメンテナンス提供

TR-COMのシステム構成



短期及び中・長期ベースの社会貢献事業④⑤
化石エネルギーからクリーンエネルギーへの転換
（アンモニア・水素ポンプの開発）

脱炭素社会実現のためにはアンモニアや水素などクリーンエネルギーの活用が期待されるが、気体のままでは大量運搬・貯蔵がしにくく、**液化の必要**あり。
→**大型で高性能な遠心ポンプの需要**が見込まれる

短期ベースの社会貢献事業

アンモニア

すでに実用化の段階。国内外で様々なプロジェクトが進行中

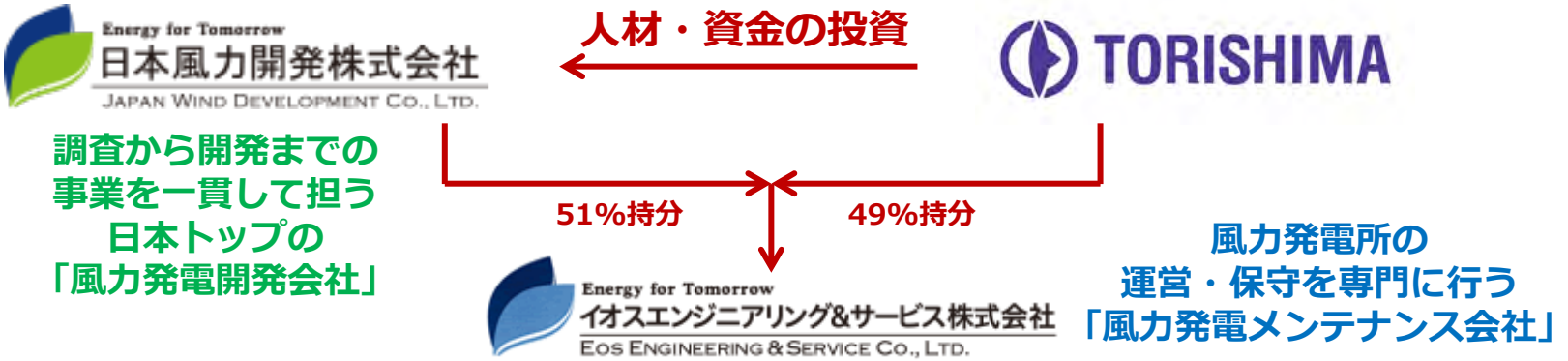
中・長期ベースの社会貢献事業

水素

技術開発の課題を克服して、実用化は2030年度以降と見込まれる

中・長期ベースの貢献事業⑥
風力発電事業への再注力

日本風力開発株式会社（JWD）とのアライアンスの強化



脱炭素社会へ向けた日本のビジョン

出典：一般社団法人 日本風力発電協会

2020年：洋上風力＋陸上風力＝**4.5GW**

2030年：洋上風力**10GW**＋陸上風力**26GW**＝**36GW**

2050年：洋上風力**90GW**＋陸上風力**40GW**＝**130GW**

中期経営計画Beyond110の財務目標

単位：億円

	2020年度 実績	HOP期間		STEP期間
		初年度	最終年度	最終年度
		2021年度予想	2024年度目標	2029年度目標
売上高（億円）	508	520	550	600以上
営業利益 （営業利益率）	36 (7.1%)	36 (6.9%)	44 (8.0%)	50以上 (8.3%以上)
経常利益 （経常利益率）	46 (9.1%)	38 (7.3%)	47 (8.5%)	56以上 (9.3%以上)
ROE	9.5%	7.0%	8.5%	8.5%以上
総還元性向	26.8%	31.6%	40%をめざす	40%以上